

募集班長の模型部屋（第4回）

皆さんこんにちは。

去る7月20日について10式戦車も発売され、私も買いに行ったのですが、もう売り切れでした（泣）プラモ界では自衛隊車両ブーム到来か・・・の勢いですよね。今後の展開に期待したいものです。

売り切れていたときの私の悲しい顔を見て娘達が「お父さん、本当にショックなんだね・・・」とあきれ顔。「こんなのたいしたことはないよ。お前達の悲しい顔を見るときがお父さんは一番つらいんだよ。」と決めゼリフ言ったら「キモっ！」だそうなの。

さて今回は、懐かしの自衛隊戦車シリーズ第4弾・・・だったかな？

M24A1 自走高射機関砲 です。



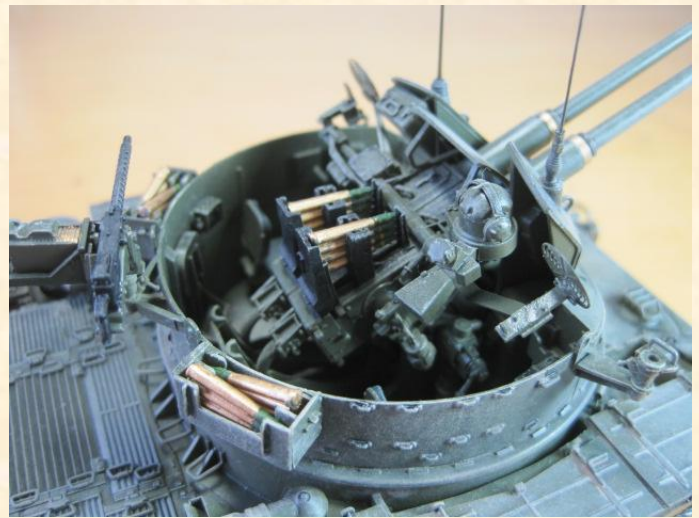
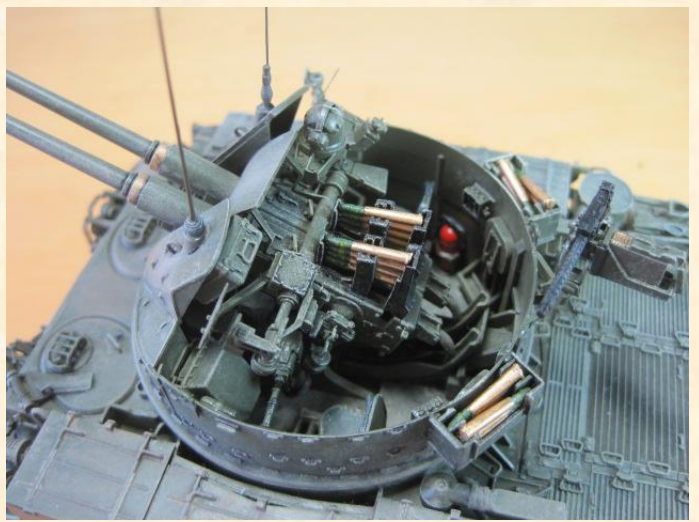
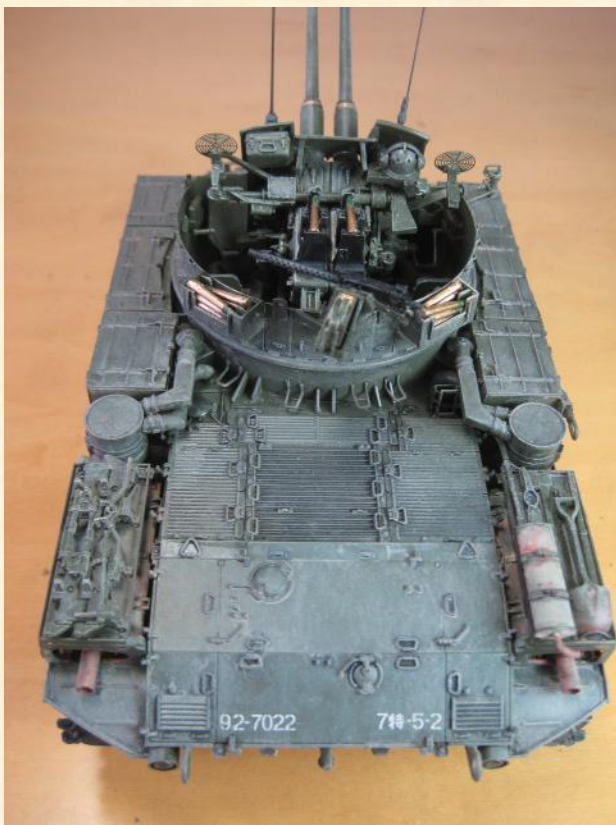
M24A1 自走高射機関砲は、87式自走高射機関砲が配備される昭和62年頃まで使用されていました。私が入隊した頃の第7高射特科連隊にもまだ現役で使用されており、作戦間に車両行進を行ったとき、マフラーを真っ赤にしながら走っていました。ガソリンエンジンなので、排気音も甲高く、バババババ・・・とけたたましく鳴らしていたのを覚えています。基本的に作戦地域の防空任務に就くので、戦車と並んで戦うというよりは、何kmか離れて対空援護するので、近くで見ることはありませんでした。あの頃もっとよく見ておけば良かったな・・・



キットはAFVCLUBのキットで、そのパーツ数や複合素材に気合いを感じました。ただ、砲塔がはまりにくかったり、キャタピラの素材が接着に不向き等、小さな問題がありました。ストレート組でこの出来映えは素晴らしいです。今回は、手元にあった資料から、第7特科連隊第5大隊仕様にしました。



車体色は、M4戦車と同様にグンゼのブラウンバイオレットを使用しました。昭和時代の自衛隊OD色にぴったりです。



砲塔内部もパーツ数が多く、完成したときの精密度が違います。

自衛隊では砲弾をこのように雑？に積むことは射撃訓練でも絶対に無いのでこのようなフル積載は見られないのですが、あくまで模型だから出来る芸当です。



マフラーは当初車体色で塗られているのですが、熱で色が褪せ、錆が浮き出てくるので、このような状態になります。パステルコンテの赤茶で荒く塗り、色あせた車体色を明灰白色を希釈して置くように塗ることで表現しました。どうですか？それらしく見えますか？予備履帯も車体と一緒にOD色で塗られていたようです。



車体側面から見ます。樹脂製の履帯ですので、弛みは表現できませんが、履帯張度が高いと、この様に見えるので割り切りました。タイヤブラックを塗った後、金属部分をメタルブラックやグレイで塗り、ウェザリングスティックを水で溶かして埃を表現。



懐かしのタミヤのM42（左）と並べてみました。約30年以上の差があるのですから、当然なのですが、昭和のプラモの香りがします。でも、この頃のタミヤキットに育てられたんですよね・・・



さて次回は、冒頭でお話して出てきた

10式戦車

です。
結局、買っちゃいました（笑）
お盆休暇の3日間を不眠不休で作り上げましたので、そんな話も織り交せて紹介させていただきます。

それではまたお付き合いくださいな。